



小峰だより

第219号

9月

小峰ふれあい自然郷(都立小峰公園)は、都立秋川丘陵自然公園のほぼ中央部に位置し、谷戸田、せせらぎ、桜尾根、雑木林で成り立ち、里山の景観を残す魅力的な公園です。その中心施設である小峰ビジターセンターは、秋川丘陵自然公園の中心的な活動拠点です。

発行者：小峰ビジターセンター
発行日：令和8年9月1日

季節のみどころ ～この時季、スタッフおすすめの自然～

やまのくり

山の栗

～秋川谷のチェスナット～



夏名残る木立にイガ坊主
山の栗

「コノ木ハ、ナントイウ 木デスカ？」
あきがわだに
秋川谷の最奥。標高1,000mの自然公園。その日は珍しく、炭焼き窯に火が入っていた。某テレビ局の国際放送番組の撮影が行われていたからだ。もちろん、炭焼き名人“炭焼きの翁”が白炭焼きを^{おきな}実演^{しろずみ}している。
「これは櫓の木・・・コナラっていう木だよ」
「コナラ・・・アア、オークノ木 デスネ」
他国出身の女性レポーターが名人に聞き込んでいる。日本語はいたって^{りゅうちょう}流暢だ。
「そう、コナラとかミズナラを使う・・・んっ？」
炭焼き名人が材料の中の本一本に気づいた。
「あれ、混ざってるなあ。こりゃクリだ。栗の木、わかる？」

「ハイ ワカリマス。クリ、チェスナット」
炭焼き名人は記憶を辿るように話してゆく。

「そのチェスな^{たど}んとか。栗の木は山にいつぱえ生えていたんだが、炭の材には使わねえ。硬いのはいいんだが、炭に仕上がっても、火が熾^おきづらい。途中で消えちまうこともあらあ。ただ、栗の木は硬くて重いから、線路の枕木にちょうど良くてねえ。その昔、五日市の駅まで、切って持って行けば、いくらでも売れたんだよ。見りゃわかるけど、今じゃ太くて大きな栗の木は、ほとんど残ってないね。山に生えてる栗の実^{やまぐり}は、山栗とか柴栗^{しばぐり}とか言って、甘くてねえ、ウマイよ」

夏名残る木立に、薄紫がたなびいていた。

取材協力：櫓原都民の森



車が轢き割る栗を狙うサル

縄文時代の住居や建物の主柱にも使われ、食材としても日本人の文化に深くある野栗。野生動物にとっても命を繋ぐ重要な糧となっている。冬を越すために欠くことのできない栄養源だ。



混ざり込んだクリ材を判別

クリ材は窯に入れる前に除く。焼き上がったクリ炭は、素人目には判別できないという。



木製枕木の上を通過する

JR五日市線ではレールの継ぎ目などに、いまでも木製枕木が敷設されている。

「小峰公園でバッタをさがそう！」

9月13日(日) 9:50 ~ 12:10

小峰公園の原っぱに、どんな種類のバッタがいるのか調べてみましょう。公園レンジャーがバッタの見つけ方や捕まえるコツを伝授します。

会場: 都立小峰公園

対象者: 5歳以上の子ども(保護者同伴)
・中高生

参加費: 50円 / 一人あたり

募集人数: 15名 (応募多数の場合は抽選)

申込締切: 9月4日(金)



「小峰公園で赤トンボをさがそう！」

9月20日(日) 10:00 ~ 12:30

秋づく小峰公園の空に、どんな赤トンボが飛んでいるのか調べてみましょう。公園レンジャーが赤トンボの見分け方や捕まえるコツを伝授します。

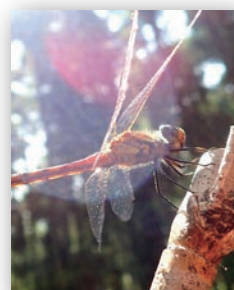
会場: 都立小峰公園

対象者: 小学生とその保護者
(小学生のみの参加、小学生未満の子どもの同伴はご遠慮ください)

参加費: 50円 / 一人あたり

募集人数: 10名 (応募多数の場合は抽選)

申込締切: 9月13日(日)



※募集要件の詳細、申し込み方法などは、ホームページやチラシをご参照ください。
※都合により、内容の変更または催行を中止する場合があります。

こんなことありました！

【おいしい野菜づくり】 7月11日(土)

●おいしくできたかな？ 収穫体験

初夏の陽光を浴びて、ぐんぐん育った畑のジャガイモと枝豆。梅雨の晴れ間に収穫しました。ずしりと重いジャガイモ、ぷくぷくに膨らんだ枝豆。おいしさに決まってる！



育てた野菜が、この手の中に

里山の生きもの調査隊

【夏のチョウをさがそう】 7月19日(日)

草いきれの中、虫捕り網を手にチョウを探しました。小さなシジミチョウや原色イエロー鮮やかなキチョウなどは足元に。カラスアゲハは大きく、高く舞いました。



逃げないで！止まって！

【谷戸田の稲作2026】 7月12日(日)

●田んぼの手入れ、生きもの観察

ひと雨毎に茂ってゆく田んぼの雑草たち。イネの育ちを邪魔されないよう、草取り、草刈りに汗を流しました。でも子ども達は気もそぞろ。生きもの観察が待ちきれない！



立派なマッカチン

お知らせ

～ 気象状況による臨時休館 ～

台風や大雨等の激しい気象状況によっては、小峰ビジターセンターを臨時休館、もしくは開館時間を短縮する場合がございます。その際には、ホームページおよびX(旧Twitter)に掲載し、お知らせします。



台風一過の秋川

小峰ビジターセンター

〒190-0152

東京都あきる野市留原284-1

TEL:042-595-0400

● 開館 9:00～16:30

● 休館日 月曜日(祝日の際はその翌平日、ただし夏休み期間を除く)、
年末年始



小峰公園HP



X(旧Twitter)

